

日本ジオパークネットワーク 中四国近畿ブロックキャンペーン

6月18日(水)、神戸三宮地下街のさんちか「夢広場」で、日本ジオパークネットワーク中四国近畿ブロックキャンペーンを行いました。山陰海岸、四国西予、隠岐、南紀熊野(和歌山)、美祢(山口)、いずも、室戸の7地域が初めて合同で行いました。現在、日本ジオパークネットワークはとて大きな組織となり、今年度よりブロックごとに活動しています。今回は、近隣の地域についてより知り、情報を共有する取組の一環となりました。

三宮地下街はとても人通りが多く、平日にも関わらず、約600名の方が立ち寄られました。そして、クイズ大会に参加したり、各地域のコーナーで話を聞き、パンフレットを持ち帰るなどしていました。お孫さんと夏休みに行く場所を考えている方には、教育の要素のあるジオパークは興味を惹き、観光としてもとても勧めやすかったです。

2014隠岐ジオ博

企画展

■9月1日(月)~28日(日)

隠岐の島町 隠岐自然館

「隠岐の歴史と文化」

イベント

■9月13日(土) 隠岐の島町

昔から続く隠岐の人々の生活についてのシンポジウム

■9月21日(日) 隠岐の島町

隠岐の伝統芸能イベント

■10月18日(土) 西ノ島町

隠岐の海をテーマとした人と自然との関わりについてのシンポジウム

ジオパーク推進協議会第1回幹事会

6月25日に平成26年度第1回隠岐世界ジオパーク推進協議会幹事会を開催しました。報告事項としては、幹事会や推進協議会の今年度のメンバーについて、平成25年度の決算と平成26年度の活動状況についてです。また、世界ジオパーク認定一周年記念事業として、ジオ博の開催について協議しました。ジオ博は、ジオパークへの理解を深め、隠岐の価値を再認識すること、隠岐への誘客促進を目的としたイベントです。

さんちかでの キャンペーンの様子



鳥取のマスコット

トリピーと湖池ちゃん



クイズ大会の様子

レンジャー通信

オオキンケイギクについて

繁殖力が非常に強く、隠岐の貴重な植物を駆逐するため、駆除事業を行います。きれいな花ですがご協力をお願いします。



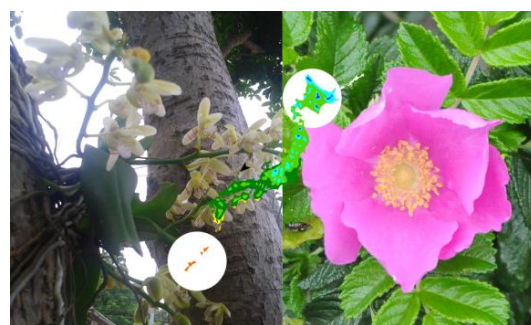
島前の駆除講習の様子(7月4日)



オオキンケイギクの黄色い花

パークレンジャー講座について

隠岐の美しい海岸をカヤックで堪能しませんか。初心者もOK。開催日は8月2日・4日・7日です。詳しくは(一社)隠岐ジオパーク協会(08512)3-1005まで。



隠岐の植生

過去数万年の環境変化を反映した隠岐の植生には、他の地域では考えられない種類の組み合わせがあります。ナゴランとハマナスは、それぞれ沖縄の山や北海道の海辺に見られますが、島後では布施の春日神社近辺に揃って見られます。

隠岐世界ジオパークで、つながりを見つけよう！
隠岐は、離島ならではの「大地の成り立ち」「独自の生態系」「人の営み」とそのつながりが分かる場所として、世界ジオパークに認定されました。今回は、隠岐の植生について照会します。

隠岐世界ジオパーク、デビューの旅(隠岐世界ジオパーク観光周遊バス)スポット紹介 隠岐の島町

前回号から観光周遊バスで巡ることのできるジオスポットを紹介しています。第2回目は佐々木家住宅(ちちすぎコーズ)です。

【第2回】佐々木家住宅

佐々木家住宅は、町内釜地区に8代にわたって続いた庄屋屋敷で、1836年(天保7年)に建築された、隠岐の島町最古級の木造建築です。建築様式は隠岐独特の隠岐造りといわれ、「入口が3つあること」、「間取りは奥座敷が見えない鍵座敷というつくりであること」などの特徴があります。石置き杉皮葺きの屋根も見事です。平成4年に国の重要文化財に指定され、平成17年には解体保存修理が行われリニューアルされています。



佐々木家住宅

釣って食べる楽しみ 海士のマルチワーカーの目から

海士町

海士町は火山運動により分かれた島の一つであり、面積も小さい島です。だからこそその地域からも海が近く、手軽に釣りを楽しむことができます。海士町には釣り人が沢山います。晩御飯にするためにその日の魚を釣る方、自分の船で釣りに出かける方等、それぞれ釣りを楽しんでいます。また季節によって釣れる魚が異なるので、釣る楽しみだけでなく、旬な魚を食べることができるという贅沢さも味わえます。

私自身先日チヌを釣ったのですが、引も強く、新鮮な状態で食べることができ、充実した1日を過ごしました。そんな風に日々の生活に楽しみを見出して、生活を送っています。



西ノ島ふるさと案内人は 毎月勉強会を開催しています！ 西ノ島町

西ノ島ふるさと案内人は、春から秋まで毎日のように、島外からのお客様をガイドしています。この忙しい時期でも、スキルアップのため月に1〜2回勉強会を行っています。5月は後醍醐天皇と配流の謎を、6月は初夏の花を勉強しました。さらに6月10日(火)には隠岐の地質に詳しい島根大学名誉教授の山内先生をお招きして、バスで島を周りながら大地の成り立ちやジオパークについて、深く楽しく学びました。勉強をする度に「わかりやすく伝えること」の難しさを思い知りましたが、お客様の心に寄り添うガイドを第一に心がけて、これからも励みたいと思っています。



地質専門の山内靖喜氏による説明の様子

くにびき交流の海(かい)

知夫村

6月28日(土)、松江市の市民団体「くにびき交流の海(かい)」が、丸木舟で松江市の加賀港から知夫村に向けて航海しました。これは、弥生時代に日本海で使用された丸木舟での航海を再現して、隠岐と本土の交流を深めようと挑戦したもので、漕ぎ手と伴走船の総勢12名が、早朝5時10分に加賀港を出航しました。沿岸部や島の近くでは、伴走船でえい航し、午前11時すぎに知夫漁港に到着しました。そのあと歓迎式典を行い、知夫村で2泊(当初は1泊でしたが、翌日は悪天候のためさらに1泊)して、30日早朝に加賀港へ向けて出航しました。



隠岐世界ジオパーク新聞へのご質問、ご意見、ご要望は下記までお寄せください。



☎ (08512) 2-9636

FAX (08512) 2-9626

メール info@oki-geopark.jp



隠岐世界ジオパーク推進協議会事務局

〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口24番地 (隠岐支庁3階 県民局内)